



図2 日中張仲景学説交流会シンポジウム会場

いう演題と何新慧（教授，上海中医薬大学傷寒論教室主任，中華中医薬学会仲景学説分会副主任委員）による「張仲景の陰陽調節理論に基づいた婦人科診療」という演題であった。

第二部は平馬直樹（講師，日本医科大学東洋医学科，平馬医院院長），姜徳友（教授，中華中医薬学会仲景学説分会副主任委員，黒竜江中医薬大学基礎医学院院長）を座長に，これら演題に対する総合討論が行われた。この時，安井広迪より

中国側にリクエストがあり，次回以降，パンデミックについて，特に「スペイン風邪に対する治療」を発表して頂きたいとの希望が述べられた。

このシンポジウム会場の参加者は日中双方で約80名ほどであったが，「張仲景」について両国を代表するようなシンポジストの顔ぶれで，質疑応答ともに活発に行われた。専門的な内容が伴うような質疑応答があったが，全般としてスムーズな運営が行われた。このシンポジウムに対して作製された資料も日本語・中国語双方の言語に訳されており，事前の準備もたいへんであったと思われる。日中張仲景学説交流委員会，および，協賛の国際張仲景医学会日本支部，日中健康科学会，中華中医薬学会仲景学説分会，北京中医薬大学，広州中医薬大学，上海中医薬大学の方々の熱意と努力に感謝を申し上げ，労をねぎらいたい。

- 1) 日中傷寒論シンポジウム記念論集，中医臨床，1982，3(5)

例会記録

日本医史学会・日本歯科医史学会・日本薬史学会・
日本獣医史学会・日本看護歴史学会

合同12月例会 平成20年12月13日(土)
順天堂大学医学部9号館2階8番教室

1. 明治21年磐梯山噴火における災害医療活動
川原由佳里
2. 歯科大学における医療倫理教育 関根 透
3. 馬醫の祖“伯楽”と“伯楽鍼経”の展開
亀谷 勉
4. 小島宝素家の医書研究と楊守敬の医書校刊
真柳 誠
5. マリー・キュリー夫人と放射能研究に殉じた
最初の日本人研究者・山田延男
——日仏修好150周年に因んで 山田光男

平成21年1月例会 平成21年1月24日(土)
順天堂大学医学部9号館2階8番教室

1. ナイチンゲール伝染病論の社会性 友松憲彦
2. 在ドイツ森林太郎あて書簡にみる帝国大学医
科大学事情 岡田靖雄